

新潟大学医歯学総合病院 救急集中治療科

救急科、麻酔科（集中治療医）、循環器内科、呼吸器内科、腎臓内科、小児科など多様なバックグラウンドを持つ医師で構成される集中治療室を運営しています。新潟県内の重症心不全症例や心臓手術、新潟市内の急性心筋梗塞症例が多く搬送される、日本海側の都市随一の、循環器ハイボリュームセンターです。

集中治療室/救命救急センター

術後管理、3次救急患者、院内急変患者ら合わせて年間約1800名が入室します。循環器関連では、主に急性心筋梗塞や心筋炎を含む急性心不全や、肺血栓塞栓症、成人小児の開心/大血管手術後、TAVI、Mitraclipを含むインターベンション治療の周術期管理が入室症例になります。救急集中治療科、循環器内科、心臓血管外科、多職種からなるハートチームにより診療をする体制が整っています。オープン（～セミクローズ）ICUで、集中治療医として診療の裁量や責任も大きく大変な場面もありますが、ハートチームや、快くコンサルトに応じてくださる各診療科により問題解決を図りながら治療を行っています。集中治療室は集中治療科専門医8名が在籍し、循環器内科からの出向（専属）は1名、また科長の西山は循環器内科出身の救急医という体制です。

重症急性心不全治療

近年、治療抵抗性の急性心不全でImpella、体外式VADといった機械的補助循環（MCS, Mechanical Cardiac Support）が行われるようになりましたが、当院でも使用されています。大阪大学で研鑽を積まれた心臓血管外科の堂前医師、循環器内科の酒井医師らを中心に、私たち集中治療担当医と共同し循環管理はもちろん、出血や感染などの合併症への対応や、一酸化窒素（NO）吸入療法を含む呼吸療法を合わせた集中治療を行っています。MCS患者について平日は毎朝循環器内科、心臓血管外科担当医とのカンファレンスが設定され、最適な治療方針設定を目指しています。当院は現在、植込型補助人工心臓実施施設への申請を進めており、東京や大阪での心臓移植への橋渡しを含めた、重症心不全診療を全新潟県内の患者へ提供できる体制を目指しています。臨床研究も単施設（主催）、多施設（分担研究者）とも実施しております。

キャリア

救急集中治療科のキャリアパスでは特に、

1. ドクターヘリを含む循環器救急の病院前診療、3次救急の救急外来、救命センターでの重症患者管理の研鑽を行うことができます。
2. 救急医による VV-ECMO 実施と研修が可能で、循環器内科と共同での VA-ECMO 実施の研修が可能です。

循環器内科、心臓血管外科への入局であれば、キャリアの中で私たちと循環器集中治療を担当していただくことになります。

麻酔科入局からのキャリアパスでは、麻酔科専門医、JBOT、心臓血管麻酔専門医の取得を目指し、心臓麻酔と周術期管理、循環器集中治療を担います。また小児心臓麻酔も症例が豊富で、麻酔科専門医取得後の研修や、小児科の先生であれば小児循環器集中治療の研修をすることも可能です。

当院の循環器集中治療のキャリアには以上のような入り口、関わり方がありしますので、皆様のご希望に沿ってご相談させていただければと思います。医師のキャリアについて述べましたが、職種に関わらず当院での勤務に関心のある方は各部署に取り次ぎますので、ぜひご連絡ください。

連絡先

新潟大学医歯学総合病院 救急集中治療科 emccm@med.niigata-u.ac.jp

医局長など、担当者よりご連絡差し上げます。

- ・ 救急集中治療科 HP <https://www.med.niigata-u.ac.jp/ecu/>
- ・ 循環器内科 HP <https://www.med.niigata-u.ac.jp/car/>
- ・ 麻酔科 HP <https://www.med.niigata-u.ac.jp/ane/>